

只見町消防団を代表する 気迫の操法

平成22年度福島県
消防操法南会津地方大会



▲ポンプ車操法

平成22年度福島県消防操法南会津地方大会が、7月4日に南会津町のだいくらスキー場駐車場で行われ、5月17日の結団式から30日間の訓練を重ねてきた町を代表する消防団員、「ポンプ車操法6名」、「小型ポンプ操法5名」の選手が大会に出場しました。

この日は時おり小雨が降る曇り空、選手は緊迫感漂う会場でウォーミングアップし、本番を待ちました。ポンプ車は3チーム中1番目に、小型ポンプは4チーム中2番目に操法を行いました。鈴木好行消防団長から「今日が本番、練習の成果をすべて出し切ってください」と激励を受けた選手は、全員で円陣を組み気合を入れ、競技に臨みました。審査員の開始合図とともに、指揮者の「集まれ！」で選手は横一列に集合、緊張感は一転して集中力へと変化し、各選手が俊敏な動きと絶妙なタイミングでポンプ操作などを行い、最短时间内で火点への放水を完了しま



▲ポンプ車操法の部・出場選手

した。完璧な操法をやり遂げたポンプ車と小型ポンプの両出場選手に、鈴木消防団長をはじめとする総勢51名の応援団からは感動の拍手が送られました。選手らは、実力を出し切った満足感に笑みを浮かべていました。

ポンプ車操法、小型ポンプ操法ともに第3位の成績を収めました。出場された選手は次のとおりです。

▼ポンプ車操法の部・第3位

佐藤隆一、堀金瞬、渡部典高、渡部圭、三瓶宏勝、小沼守(補)

▼小型ポンプ操法の部・第3位

五十嵐一幸、渡部賢史、渡部隆義、目黒隆、横山慎(補)
(敬称略)

▼小型ポンプ操法



▲入場行進する只見町の選手



▲小型ポンプ操法の部・出場選手

地域リーダー第一期生の講座スタート

ふるさと只見・人材育成講座

教育委員会が行う「地域人材育成ダイヤモンドプラン事業」の「ふるさと只見・人材育成講座」開講式が7月22日に、只見町役場で開かれました。

これからの町をあらゆる分野で支える人材「地域リーダー」を育てるため計画されたこの事業の第一期生は、一般公募から9名、JA会津みなみ推薦1名、只見町商工会推薦1名の計11名に決定。全員が開講式に出席しました。

はじめに、横山太郎教育委員長が「多方面で活躍される町のリーダーとなっただけでいい。皆さまのご協力をお願いします」とあいさつし、続いて目黒町長は「地域の資源を活用し町おこしにつなげる活動を、みんなで考えていく。そのために様々な業種や人の連携をさらに強力なものにしていく講座となることを期待します」とあいさつしました。

最後に、第一期生の決意表明があり開講式は終了。引き続き、第1回講習会

が行われ、講師に福島大学経済経営学類教授の西川和明氏を迎え「地域資源を活かす!」をテーマに講演がありました。講義では、地域ブランドづくりのポイントや成功の秘訣などの説明がされ、只見町の資源を活かす方策は何か、課題は何か、などについて受講生一人ひとりから意見の発言がありました。人材育成講座は今後、23年3月までの間に4回行われます。

人材育成ダイヤモンドプラン 第一期生名簿 (敬称略)	
氏名	住所
1 舟木 晋太郎	小林
2 三瓶 清志	大倉
3 佐藤 弘	叶津
4 目黒 道人	樋戸
5 目黒 広信	塩ノ岐
6 新国 真也	只見
7 山内 翔	二軒在家
8 山内 幸三	布沢
9 星 美弥子	小林
10 吉津 健	黒谷
11 目黒 孝幸	只見



▲講習会の様子

歳時記の郷・奥会津の活性化を目指す

只見川電源流域振興協議会 第1回役員会・要望活動

7月14日に只見川電源流域振興協議会の第1回役員会が只見町役場で行われ、只見町はじめ、柳津、三島、金山、昭和、南会津、檜枝岐の各町村長などが出席しました。

最初に、同協議会長の齋藤茂樹三島町長のあいさつがあり、協議会に入りました。協議会では、4月からの活動経過をはじめ、トータルコーディネーターに清水慎一立教大学観光学部特任教授を置くことや、流域内の担い手の育成、専門コンサルタント

とのワークショップを行い、併せて調査企画活動を推進していくことなど、今後の課題と進め方、スケジュールなどについて意見交換がなされました。

また、この日は国道289号「八十里越」の新潟県側現地視察も行われ、交通不能区間の早期解消に向けた改築事業の促進に関する要望活動として、前川秀和国土交通省北陸地方整備局長、近藤淳同整備局道路部道路調査官、倉重毅同整備局長岡国道事務所長へ、要望書が手渡さ

未改良区間の改良と雪対策の早期取り組みを

県道小林・館ノ川線改良促進期成同盟会総会

7月15日、平成22年度県道小林・館ノ川線改良促進期成同盟会総会が季の郷湯ら里で開かれました。会長の目黒町長のあいさつに続き、渡部勝博福島県議会議員および青戸良夫南会津建設事務所長代理の星啓介企画管理部長が祝辞を述べました。

今年度事業計画を「未改良区間の改良工事促進・雪崩発生箇所防雪工事早期整備と除雪計画の整備促進」などと定めて活動を展開することとしました。

最後に山口土木事務所から平成22年度事業概要説明が行われ、荒島・熊倉区間の落石防護柵設置の整備と、それに関連した事業実施の説明がありました。また、除雪要望区間を地元区長や町役場担当者などと現地調査を行い、可能なところから整備をしていきたいとの説明がありました。さらに、冬期間交通不能となる小川・一ノ坪間と荒島・熊倉間の早期除雪についての要望がありました。



▲八十里越現地視察

れました。さらに、国道400号の早期通行止め解除等要望活動も併せて行われています。



▲あいさつをする目黒町長

虫歯のない子



5月18日
3歳児健診



いづか ひめ
飯塚 妃 さん
(大倉)

株式会社東邦銀行（頭取 北村清士氏）では、森林、湖、公園など自然環境の保全活動に役立てていただきたいとの趣旨で、「東邦エコ定期預金」を創設され、その一定額を「自然首都・只見応援基金」に寄付されました。

贈呈式は、7月20日に福島市の東邦銀行本店において行われ北村頭取から目黒町長に目録が手渡されました。町からも、そのご厚意に敬意と感謝の意を表するため、その席上で町長感謝状を贈呈いたしました。

なお、今回は89万円をご寄付いただきました。有効に活用させていただきます。ありがとうございます。

東邦銀行から「自然首都・只見応援基金」に寄付

6月23日に只見町役場において、原田美千代さん（黒谷）に総務大臣感謝状が贈られました。感謝状は総務省福島行政評価事務所の高野和敏所長から原田さんへ手渡されました。



▲感謝状を受ける原田さん

活動にご尽力されたことが認められました。

原田美千代さんに総務大臣感謝状

南会津地方植樹祭緑化功労者

平成22年度の緑化功労者は次の方々です。
6月9日に比良林公園（大倉）で行われた「南会津地方植樹祭」で表彰されました。

氏名	住所	功績
只見の自然に学ぶ会代表 新国 勇さん	只見	奥会津地域の自然環境の調査・研究を行い、本地域の自然環境の貴重性、重要性の啓発に取り組まれた。また、貴重な自然と豊かな生態系が地域の宝となり、地域づくりに役立つことを広め、自然環境の保全と普及・啓発活動に貢献された。
渡部 民夫さん	小川	森林についての豊富な知識や経験を有し、長年にわたり森林保全巡視活動に従事され、入山者に対して火の始末・ごみの持ち帰りの指導、被災した森林の早期発見や森林保全施設の巡視を行い、只見町の森林環境の保全に貢献された。

只見町農業委員会委員

8月11日に任期満了となる農業委員会委員は、無投票で12名が当選しました。
(立候補届出順・敬称略)

1	現職	齋藤 一 (福井・62歳)
2	現職	五十嵐 義博 (只見・62歳)
3	現職	馬場 和正 (蒲生・73歳)
4	現職	佐藤 茂 (叶津・65歳)
5	新人	山内 英明 (梁取・57歳)
6	現職	梁取 祝久 (坂田・62歳)
7	現職	星 耕一 (福井・50歳)
8	新人	赤塚 正明 (長浜・64歳)
9	現職	渡部 旦明 (小川・64歳)
10	新人	菅家 和義 (布沢・59歳)
11	現職	三瓶 清志 (大倉・47歳)
12	新人	角田 睦 (小林・67歳)

さようならヴィッキー先生 只見中学校で離任式

平成20年8月から町の英語指導助手を務めたヴィクトリア・ポッター先生の離任式が、7月20日に只見中学校で行われました。

ヴィッキー先生はあいさつで「生徒の皆さん、目標を高く持って頑張ってください。色々な人と出会い勉強してください。皆さんは、素晴らしい生徒です。お世話になりました。さようなら」と述べました。

ヴィッキー先生には全校生徒が寄せ書きされた3枚の色紙が贈られました。ヴィッキー先生は7月26日に母国の英国に帰りました。



参議院福島県選出議員選挙

只見町開票区：開票結果
(平成22年7月11日執行)

岡部 みつりのり (民主党)	4 9 1
いわぶち 友 (日本共産党)	3 5 3
菅本 かずまさ (みんなの党)	3 3 0
ましこ 輝彦 (民主党)	1, 4 4 8
いわき 光英 (自由民主党)	9 2 6